

イヌフェス! 講演会

～ネコに負けない魅力満載～



1月11日(土)
10:00～11:30

@ころこロッジ

誰でも無料でご参加いただけます
(入園料別途)



《その他のイヌフェス! イベント1/2～2/3》

企画展 & 写真展
@アマゾンセンター

クイズパネル
@各イヌ科展示場付近

よこはま動物園ズーラシア

〒241-0001 横浜市旭区上白根町1175-1 電話045-959-1000

◆動物取扱業

名称:公益財団法人横浜市緑の協会 事業所名:横浜市立よこはま動物園 所在地:横浜市旭区上白根町1175-1

種別:展示 51-0060、保管 51-0078、貸出し 51-0079、販売 51-0126

登録年月日:2007年9月3日(展示)、2007年12月27日(保管、貸出し)、2013年8月1日(販売)

有効期間:2022年9月2日(展示、保管、貸出し)、2023年7月31日(販売)

取扱責任者:須田朱美、恩田英治



イヌフェス！講演会プログラム

- 10:00 『人間ドッグ』
園長 村田 浩一
- 10:30 『野生のリカオンと取り巻く環境について』
～アフリカ最強ハンターの生態研究を通して～
リカオン研究者 安家 叶子さん
- 11:00 『まだら模様のにぎやかなイヌたち』
～よこはま動物園のリカオンの日常～
リカオン担当 橋本 雅子
- 『ケーシーという不思議なドール』
ドール担当 渡邊 恵
- 『身近な野生イヌ タヌキ』
獣医 東野 晃典
- 11:20 質疑応答



よこはま動物園園長 村田 浩一

兵庫県神戸市生まれ
宮崎大学農学部獣医学科 卒業

イヌ科動物は哺乳綱食肉目(ネコ目)に属しており、約40種が大きく4つの系統に分けられています。そのような多様な種から選別され改良され人間の友となったイヌですから、とても身近に感じるのでしょうか。愛情ホルモンと呼ばれるオキシトシンは、人間とイヌが関係する中で共通に分泌されるという研究さえあります。ズーラシアには、イヌ科に属するホンドタヌキ、ホンドギツネ、リカオン、ドール、ヤブイヌの5種がいます。かれらから、人と動物の関係を学んでみたいと思います。



リカオン研究者 安家 叶子さん

大阪府堺市生まれ
北里大学獣医学部動物資源科学科 動物行動学研究室 卒業
東京農工大学 農学府 食肉目動物保護学研究室 現所属

小さいころから動物が好きで、特にイヌ科の社会性が好きでした。そんななか、学部時代にイヌ科の中でも社会性が最も高いといわれるリカオンを本で見つけました。知れば知るほど面白くなり、リカオンの研究を始めることに。今回のイヌフェスでは、学部時代から私が研究しているリカオンの素晴らしさや、不思議なこと、そして今抱えている問題などを、実際にアフリカで調査した経験を踏まえてお話しいたします。